

開講年度	令和6年度	開講課程	博士後期課程
授業名	臨床・社会薬学特別研究		
開講キャンパス	伏虎	教室	各研究室
科目区分	特別科目	配当年次	1～3年次
必修・選択の別	選択	単位	10単位
対象学生	—	使用言語	日本語
キーワード	(臨床・社会薬学) 医薬品適正使用、臨床研究 (病院薬学) 病院薬学、リバーストランスレーショナルリサーチ (医療薬学) 医療薬学、臨床薬理学 (医療開発薬学) 神経薬理学、医療薬学		
担当教員 (下線：科目責任者)	医	(臨床・社会薬学) 教授 松原和夫 (病院薬学) 教授 中川貴之、准教授 松本みさき (医療薬剤学) 教授 江頭伸昭、准教授 山田孝明 (医療開発薬学) 教授 今井哲司、准教授 山下 哲	
	薬		
授業の概要	臨床研究を行う上で最も重要なクリニカルクエスチョンを設定し、「①どのような患者に、②どのような評価・治療をしたら、③何と比較して、④どのような結果になるか？」という4つの要素に定式化し、薬学領域における臨床研究を行う。		
到達目標	(臨床・社会薬学) 臨床研究の立案およびその実践を行う能力を身につける。 (病院薬学) 病院薬学に関する基礎・臨床研究の立案から研究デザイン、研究計画の作成、研究資材の調達、研究手法の修得、研究結果の解析、解釈、研究成果の報告まで一連の研究活動を実施できる能力を身につける。 (医療薬剤学) 医療薬学、臨床薬理学等に関する設定された研究テーマのもとで特別研究を行うことにより、高度な技術・知識を身につける。 (医療開発薬学) クリニカルクエスチョンを研究課題に変換するための考え方、最終ゴールを臨床現場への還元とする研究計画の立案と実践、研究成果を考察してまとめる能力を身につける。また、効果的なプレゼンテーションの仕方を修得する。		

授業計画	<p>(臨床・社会薬学) 臨床薬剤師の病棟活動に基づくクリニカルクエストをベースに、臨床研究の立案およびその実践を行う。(松原和夫)</p> <p>(病院薬学) 病院診療記録や医療ビッグデータ等から得られた様々な臨床課題をもとに、実験系の構築、治療標的や予防/治療候補薬の探索等の基礎研究、あるいはその臨床課題を解決するための臨床研究を行う。(中川貴之/松本みさき)</p> <p>(医療薬剤学) 教員が指導し、学生各自の研究内容について特別研究を行う。(江頭伸昭/山田孝明)</p> <p>(医療開発薬学) 末梢神経障害や睡眠障害を中心とした神経疾患の発症機序解明を目的とした研究指導を行う。また、見出した治療標的に基づく新たな原因療法開発の実践・推進に必要なスキル修得を目的とした指導を行い、アンメットメディカルニーズに挑戦する高度医療人材の養成を目指す。(今井哲司/山下 哲)</p>
授業の方法・形態	演習を中心とする。
使用するメディア	パワーポイント等によるスライド資料を使用する。
成績評価の基準	研究への取組100% (研究課題の設定内容、研究の遂行状況) によりS (90点以上)、A (80~89点)、B (70~79点)、C (60~69点)、D (59点以下) の5段階で評価し、C以上を合格とする。
授業時間外の学修に関する指示	教科書・参考書が指定されている場合は予習を行うとともに、各回終了後には復習を行うこと。そのほか、各担当教員の指示に従うこと。
オフィスアワー (学生からの質問事項等への対応)	担当教員により異なるため、希望する場合はメール又は電話により予約すること。
教科書・参考書	特に指定しない。